

一般社団法人日本脊椎脊髄病学会
平成24年度第1回理事会 議事録

【開催日時】平成24年3月16日 午後3時から午後5時まで

【開催場所】日本整形外科学会 4階会議室 東京都文京区本郷2-40-8

【出席した理事】菊地臣一、加藤真介、加藤義治、川上紀明、川上 守、佐藤栄修、高橋和久、田口敏彦、千葉一裕、出沢 明、徳橋泰明、富士武史、星野雄一、山下敏彦、米 和徳

【出席した監事】佐藤哲朗、里見和彦

【オブザーバー】永田見生（第41回日本脊椎脊髄病学会学術集会会長）

【欠席した理事】中村博亮

【議事の経過の要領及びその結果】

菊地臣一理事長は定款の定めにより議長となり、開会を宣言し、直ちに議事に入った。

決議事項

1. 2011年度事業報告承認の件

千葉一裕理事は、資料1に基づき、その記載内容に従って2011年2月1日から2012年1月31日までの事業年度にかかる事業報告案の内容を説明し、記載されている内容を当法人の事業報告として承認されたい旨を述べ、議場に諮った。

各理事は、慎重に審議し、全員一致でこれを承認可決した。

2. 2011年度決算書案承認の件

徳橋泰明理事は、資料1に基づき、2011年2月1日から2012年1月31日までの事業年度にかかる貸借対照表・正味財産増減計算書・財産目録ならびに収支計算書案について詳細な説明を行い、記載されている内容を当法人の貸借対照表・正味財産増減計算書・財産目録ならびに収支計算書として承認されたい旨を述べ、議場に諮った。

各理事は、慎重に審議し、全員一致でこれを承認可決した。

3. 2011年度監査報告の件

里見和彦監事は、佐藤哲朗監事とともに2011年2月1日から2012年1月31日までの事業年度にかかる一般会計と会務ならびに同年度のアジアフェロー会計、指導医制度特別会計、脊椎性疼痛研究特別会計、NDIバリデーション特別会計につき監査を実施し、会務は定款に従い理事会及び社員総会の決議に基づいて誤りなく行われており、また一般会計と上記記載の特別会計計算書類は適切な会計処理が行われていることを確認した旨の報告を行った。

4. 2012年度事業計画案承認の件

千葉一裕理事は、資料2に基づき、平成24年度の事業計画案について詳細な説明を行った。川上紀明理事から、2012年度事業として外保連との折衝のために手術登録制度の必要性が提案された。各理事はこれを慎重に審議し、手術登録制度については委員会活動に含めてプロジェクト委員会で検討することと意見の一致を見、原案通り承認可決した。

5. 2012年度予算書案承認の件

徳橋泰明理事は、資料2に基づき、2012年度の予算案について詳細な説明を行った。

各理事は、慎重に審議し、全員一致でこれを承認可決した。

6. 2012年度定時評議員会(社員総会)開催承認の件

議長は、資料3に基づき、定時評議員会(社員総会)を招集したい旨を述べ、議場に諮った。各理事は、慎重に審議し、全員一致でこれを承認可決した。

7. 入退会審査結果承認の件

佐藤栄修理事は、資料4に基づき、平成24年1-2月の入退会審査結果について、入会者9名(一般7、専門2)、退会者16名(名誉1:逝去退会、一般10、専門5)であった旨の報告を行い、議場に諮った。

各理事は、慎重に審議し、全員一致でこれを承認可決した。

8. 第24回学会奨励賞(大正富山 Award)受賞者承認の件

永田見生委員長は審査結果について基礎部門、臨床部門より以下の通り受賞候補者を選出した旨の報告を行い、議場に諮った。

各理事は、慎重に審議し、全員一致でこれを承認可決した。

基礎部門：Changes in synaptic transmission of substantia gelatinosa neurons in a rat model of lumbar radicular pain revealed by in vivo patch-clamp recording.

(発表雑誌 Pain 2011;152:1024-1032) 札幌医科大学医学部 寺島 嘉紀

臨床部門：Progression of Cervical Spine Instabilities in Rheumatoid Arthritis: A Prospective Cohort Study of Outpatients over 5 Years.

(発表雑誌 Spine 2011;36(8):647-653) 神戸大学大学院 由留部 崇

報告・審議事項

9. 第41回学術集会準備状況報告の件

永田見生会長は、資料5に基づき、第41回学術集会準備状況について詳細な報告を行った。

10. 第25回学会奨励賞(大正富山Award)募集案内の件

永田見生委員長は、資料6に基づき、第25回学会奨励賞募集案内を提示し、各理事の承認を得た。

11. 平成24年新役員立候補者報告の件

千葉一裕理事は、資料7に基づき、役員の立候補者が定数通りであり、評議員会の議を経て選任される旨の報告を行った。

12. 評議員選考結果報告の件

佐藤栄修理事は、資料8に基づき、評議員選考結果について、委員会による慎重な審査の結果、18名が選出された旨の報告を行った。なお、大分県の田北親寛推薦評議員は、今回の審議により同県から評議員が選出されたため、平成24年定時評議員会終了の時をもって任期終了となることを確認した。各理事は、満場一致で田北推薦評議員に感謝状を贈呈することを決定した。

13. 名誉会員推薦申し合わせ検討の件

出沢明理事は、当日配布資料に基づき名誉会員に関する規則案を提示し、議場に検討を依頼した。各理事は活発に意見を述べ、これをもとに定款検討委員会が検討を進めることとなった。

なお、本件に付随して各種規程に関する意見が述べられ、評議員の再選出条件の見直し及び利益相反規程についても同委員会の検討事項とした。

14. 顧問弁護士嘱託の件

千葉一裕理事は、資料9に基づき、顧問弁護士嘱託内容について、宗像弁護士との相談結果に関する報告を行った。各理事はこれを慎重に審議し、改めて、嘱託内容について検討し契約を行うことを確認した。

15. 税理士顧問契約の件

徳橋泰明理事から、資料10に基づき税理士との顧問契約書案に関する説明を行った。各理事は慎重に審議し、これを承認した。

16. 会員総会における表彰の件

千葉一裕理事は、資料11に基づき、表彰に関する説明を行った。

各理事は、これを慎重に審議し、表彰状は4月1日付で発行し、発行者及び総会における賞状授与者を4月1日現在の理事長が行うことを申し合わせた。

17. 各種委員会関係

a. 安全医療推進委員会

田口敏彦理事は、合併症調査を開始したこと、経過を見て4月に委員会審議を行う予定である旨の報告を行った。

b. JSR編集委員会

星野雄一理事から次の通り委員変更の申し出があり、了承された。

西日本脊椎代表委員 加藤圭彦先生→寒竹司先生へ変更。

任期:加藤圭彦先生 平成24年3月16日まで

寒竹 司先生 平成24年3月17日から同年4月18日評議員会終了の時まで

c. 指導医制度委員会

山下敏彦理事は、新理事長選定と受講証準備の時間的な制約から、学会期間中の医療安全講演の受講証明書を指導医制度委員会委員長名で発行したい旨の提案を行った。各理事は慎重に審議し、これを承認した。

d. 診断評価等基準委員会

川上守理事は、加藤圭彦委員の転勤に伴い、新体制では寒竹司先生を後任委員候補とする旨の報告を行った。

e. プロジェクト委員会

高橋和久副理事長は、資料13に基づき、モニタリングワーキンググループが前年度に引き続き2012年度もハンズオンセミナーを行う計画である旨の報告を行った。また、受講証明書の発行についても検討することとなった。

その他

・ 運動器の10年・日本協会平成24年度会費納入依頼

千葉一裕理事は、資料14に基づき、会費納入について説明を行い、各理事の了承を得た。

・ 各種委員会(ワーキンググループを含む)の見直しについて

千葉一裕理事は、資料15を提示し、将来構想WGの終息を宣言し、さらに常置する必要がない委員会は、担当理事のみを決めておくことなどについて全理事に提言を求めた。各理事は次回理事会までに事務局へ申し出ることとなった。

・ 「東北腰痛フォーラム」への後援依頼

千葉一裕理事は、資料16に基づき、後援依頼について説明を行い、各理事の了承を得た。

・ 第41回学術集会期間中の理事会開催について

千葉一裕理事は、資料17に基づき、学術集会期間中の理事会等の開催予定について報告を行

った。

・ European Spine Forum(仮称)について

千葉一裕理事は、European Spine Forum(仮称)が2014年4月23-27日にパリまたはアムステルダムにて開催される予定であることを報告し、国内の学会と重ならないよう配慮を求めた。

所要の議事を全て終了したため、議長は、閉会を宣言した。

以 上

平成24年3月16日

一般社団法人日本脊椎脊髄病学会

議長 理事長 菊地 臣一

監 事 佐藤 哲朗

監 事 里見 和彦